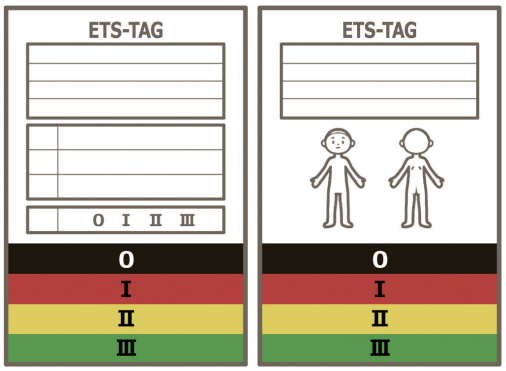
救急医療・集中治療について

「院内トリアージ」を実施しています
外来師長　　三浦　唱子



トリアージをご存じですか？災害時に多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために、傷病者に治療優先順位を決めることを言います。日本では、阪神・淡路大震災以後知られるようになりました。

平時の救急外来では院内トリアージを実施しています。救急受診した患者さんが複数いる時に、診療の優先順位をつけ、緊急度の高い患者さんから診療を行うことです。

院内トリアージは「蘇生」「緊急」「準緊急」「低緊急」「非緊急」の5段階に分類されます。救急外来の看護師は熱や血圧を測定すると共に、問診票を元に症状と全身状態をチェックし、トリアージしています。すぐに治療が必要な「蘇生」「緊急」と判断した場合は、速やかに医師の治療を開始します。また、必要に応じて専門医と連絡を取り、適切な治療を早期に開始します。

院内トリアージを実施すると、必ずしも診察・治療の順番が来院順となるわけではありません。しかし、適切な医療を適切なタイミングで提供することが救急外来の使命と考えています。地域の救急医療に貢献できるろうさい病院であるために、トリアージ技術向上に励みます。

誰からも選ばれるHCUを目指し、患者さんと家族に寄り添った看護
ＨＣＵ看護師長補佐　金森　裕子

ろうさい病院には、集中治療を行えるHCU(ハイケアユニット)病床を5床備えており、救急外来からすぐに治療が必要な患者さんが入室します。具体的には、心筋梗塞や脳卒中、くも膜下出血や緊急手術を要する方などを速やかに受け入れ、高度な医療・看護を提供しています。また、人工呼吸器や心電図モニター等の様々な医療機器を扱い、精密な薬剤の使用や管理も行っています。予期せず発症した病気、急な入院、手術後の痛みなど、患者さんやご家族は心配になると思いますが、医師・薬剤師・リハビリ部門・ソーシャルワーカー等と連携し、患者さんとご家族の思いに寄り添いながら安心・安全な医療・看護を提供しています。今年度よりHCU病床では治療中の患者さんの苦痛の軽減につながるのではないかと思い、入院中に看護師によるハンドマッサージを行っています。予想以上に患者さんが喜んでくださる反応があり大変嬉しく思っています。集中治療という特殊な環境であっても安心して療養していただけるよう日々努めています。